



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1993-4 *Believe in What You do Do What You Believe in* 行動に信念を 信念は行動に
1993-4年度国際ロータリーのテーマ/ロバートR・バースR.I.会長

●本日の例会 9月17日/第338回例会

■卓話 「誤解される日本人」

上智大学 比較文化学部教授 Mr. Gregory Clark



山小舎の^{としび}灯 米山正夫 作詩作曲
ソングリーダー 吉田琢磨君 ピアノ伴奏 泉晶子さん
たそがれの灯は ほのかに点りて
懐かしき山小舎は ふもとの小径よ
想い出の窓に寄り 君をしのべば
風は過ぎし日の 歌をばささやくよ

●先週報告 9月10日/第337回例会

■夜間例会 (レディス・デー)

藤原浜雄ヴァイオリンコンサート

■副会長報告 ●地区紫野ガバナーよりの「ローターアクト委員の委嘱状」を、渡部一元君へお渡しいたしました。

■幹事報告 ●地区ガバナー、地区世界社会奉仕委員長より、「インド、ネパール、バングラディッシュの洪水災害義捐金」の要請がありました。本日の夜間例会において、会員の皆様に募金のお願いをさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■慶事披露 ●お誕生日 E. A. Zaloom君 (9月13日) 黒川 剛君 (9月15日)

■出席報告 ●会員70名中/出席43名/欠席27名/ (内出席免除者1名)

9月3日修正出席93%

ビジター (地方1名・敬称略) 越川 久司 (越谷西)

ご同伴者 (14名、順不同、敬称略) 馬場鈴子、平井恵子、伊部千歳、石坂雅子、岩瀬和子、黒川綾子、二宮房子、西澤市子、小原栄子、佐藤梯子、関 道子、鈴木美智子、田中清子、吉田克枝

ニコニコBOX

順不同、敬称略
9月10日、12件
¥41,000
93-94年度累計
¥463,105

越川久司 (越谷西RC) / 本日は素晴らしい例会に参加させて頂きまして心より感謝致しております。山下忠治/石崎さん、ファミリーコンサートのビデオを有難うございました。河原さん、山田さん、一昨日は有難うございました。佐藤定宏/火曜会を2ヶ月欠席しました。来月は出席出来ると思います。廣瀬哲久/雨でしたが、楽しいゴルフ皆様ありがとうございました。廣江 勲/岩瀬さん、四分一さん、一昨日の南クラブとの対抗戦、大変お世話になりました。ご苦労様でございました。岩瀬秀郎/本日の演奏楽しみにしています。南クラブ対抗ゴルフ、大勢のご参加ありがとうございました。川鍋二郎/7日の火曜会、多数のご出席ありがとうございました。西沢正雄/メーキャップが続きまして。渡部一元/長い間、留守をいたしました。これから 又 皆様のお仲間に入れていただきます。梶内滋男/小湊先生、御著書ありがとうございました。これからは必ずケーキとアイスクリームは半分残します。小湊雅亮/遅刻して受付をすることができませんでした。横山秀明/本日ニコニコ担当です。ご協力ありがとうございました。

●次週予告 9月24日/第339回例会

■卓話予定 イニシエーション スピーチ 「55歳は男の転機」

当クラブ会員 (財)年金住宅ローン協会参与 梶内 滋男 君

●藤原浜雄ヴァイオリンコンサート

ヴァイオリン 藤原浜雄氏
ピアノ 横山幸雄氏



プログラム

- ・クライスラー作曲 プレリユードとアレグロ
- ・ベートヴェン作曲 ピアノとヴァイオリンの為にソナタ
第5番へ長調作品24「春」

- ・サラサーテ作曲 チゴイネルワイゼン

アンコール曲

- ・ブラームス作曲 ハンガリア舞曲 第1番

演奏者のプロフィール

○藤原浜雄（ヴァイオリン）

☆全日本学生音楽コンクール及び日本音楽のコンクールに各第1位。

☆1968年 パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第2位。

☆1971年 エリザベス女王国際コンクール第3位銀賞。

☆ニューヨークを拠点として長年にわたる演奏活動のあと帰国し、1992年11月より読売日本交響楽団の首席ソロ・コンサートマスターに就任。

○横山幸雄（ピアノ）

☆1971年生まれ。

☆1984年、毎日新聞社主催の全国学生音楽コンクール・ピアノ部門で第1位、学生のための作曲コンクールでも第1位受賞。

☆1987年、パリ国立高等音楽院ピアノ科入学。同年、ブゾーニ国際コンクール及びロン・ティボ一国際コンクールに相次いで上位入賞。

☆1990年、ショパン国際コンクール第3位（1位なし）及びソナタ賞を受賞。

☆1992年、第18回日本ショパン協会賞受賞。

銘器グァダニーニの力強い張りのある第1音は、クライスラーの「プレリユードとアレグロ」から始まりました。このテクニカルな小品を恰も一陣の風が吹き抜けるように超絶技巧で演奏しました。流石、パガニーニ国際コンクールで2位という輝かしい音楽歴の持ち主です。次の通称「スプリング・ソナタ」で親しまれているベートヴェンの初期の名曲は弱冠22才の横山幸雄氏の見事なピアノと相俟って、スケールの大きな音楽を聴かせてくれました。プログラムの最後は、ご存知、「チゴイネルワイゼン」。今世紀最大のヴァイオリニスト、ハイフェッツを彷彿とさせる華麗で甘く切ない演奏でした。アンコールにブラームスの「ハンガリアン・ダンス第1番」が弾かれました。原曲はピアノ曲ですが、ブラームスと親交のあった当時の名ヴァイオリニスト、ヨアヒム編曲によるものです。「音楽って、いいなあ！」と至福の余韻に浸ることができたのも、このコンサート実現に努力された四分之一さんと田中さんのお蔭です。心より感謝いたします。（山下記）

●火曜会報告

（9月7日）

出席者 石束嘉男、宮澤 博、沖 宏之、相澤成憲、荒木昭文、馬場博一、渡部一元、梶内滋男、青野信次、伊藤弘信、平井逸夫、田中 武、岩瀬秀郎、河原勢自、入沢頼二、大日方 真、四分一 勝、馬場一廣、川鍋二郎（19名 順不同 敬称略）

去る9月7日、本年度第3回目の火曜会が、定例会場である全日空ホテルスカイバー「アストラル」の一室にて、開催されました。当日は3週連続の台風（14号）接近による雨にも拘らず18:00過ぎには19名という本年度最多数の会員がお集りになりました。18:20過ぎから当日のテーマ「会報委員会」について宮澤新委員長よりお話が始まり、続けて青野旧委員長、荒木、大日方、渡部、田中各旧委員、そして河原新委員と多くの新旧会報委員から苦労話やご意見、ご要望等多岐にわたるお話があり、正に火曜会以外ではなかなか聞くことの出来ない貴重な、そして充実した内容でした。特に青野旧委員長からは週報の3大役割について明解に且つ的確にご説明があり、多くの会員が週報の存在価値やそのあり方というものを、そして更には会報委員会に対する認識を多かれ少なかれ見直したのではないのでしょうか。次回は10月5日の予定です。（川鍋 記）

■ゴルフ同好会

新南参加者（敬称略）

廣江、廣瀬、入沢、石坂、宮澤、二宮、佐々木、柴本、四分一、鈴木、高須、田中、吉岡、岩瀬

9月8日（水曜日）名門相模カンツリー倶楽部において、東京南クラブとの親善対抗ゴルフ会が催されました。

当日は台風14号の接近により秋雨前線が刺激されて生憎の、それもかなり強い雨模様となりました。この悪天候の中、集まった方たちは「中止にして早く帰りたい」「いや、折角来たのだからプレーしたい」という相反する心の葛藤に悩まされながら、遂に「9ホールを以てコンペを成立させる」との結論を出し、雨の中に飛び出していきました。途中、一時雨足が激しくなって苦しめられましたが、南クラブ9名+当クラブ14名=計23名全員無事完走することができました。

その結果、優勝は南クラブの雪野会員に攫（さら）われましたが、クラブ対抗は上位6名づつのNET合計で争われ、南463 新南428で当クラブが快勝いたしました。（岩瀬 記）

東京新南ロータリークラブ

会長：斉藤茂之 副会長：廣江 勲 幹事：吉田用親
〒107 東京都港区赤坂2-22-19 南部坂アネックス201号
TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日・12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

後藤信夫、相澤成憲、加藤昌明、河原勢自、川鍋二郎、小原 健、横山秀明、関 征春、山下忠治、宮澤 博

●印刷／豊圓堂印刷（株）